

平成 24年 11月 18日

天理市議会議長 三橋保長様

文教厚生委員会
委員長 東田匡弘

文教厚生委員会視察報告書

視察日程 平成24年8月28日（火）～8月30日（木）

視察先及び調査事項

島根県 松江市 8月 28日（火）
調査事項 「屋外運動場芝生化事業について」

島根県 雲南市 8月 29日（水）
調査事項 「公立保育所の保育業務委託契約について」

岡山県 玉野市 8月 30日（木）
調査事項 「親学啓発パンフレットについて」

委員長 東田匡弘

副委員長 前島敏男

委員 飯田和男

委員 加藤嘉久次

委員 岡部哲雄

随 行

議会事務局 河合宏明

(1) 視察先及び目的

1. 島根県松江市

調査事項 「屋外運動場芝生化事業について」

目 的 子供たちを取り巻く環境が大きく変化し、普段の生活の中から運動やスポーツが減少し、結果として子供たちの心身の発達や健康に重大な影響を与えている。
このままでは、人間関係が希薄で活力がなく生活習慣病を患った大人が多い地域社会になることが心配されます。
そのために、子供達が思い切り体を動かして、体力を育む環境づくりの一環として屋外運動場の芝生化事業を実施され、維持管理にかかる経費を低く抑えている松江市の方式についての調査を目的とする。

2. 島根県雲南市

調査事項 「公立保育所の業務委託契約について」

目 的 民間保育所の持つ柔軟性や効率性を活かして、保育の質を確保しながら多様な保育ニーズに迅速かつ効率的に対応できるのか。又、民間の力の活用による市立保育所の施設設備を通じ、保育環境の改善、地域による子育て支援の充実に向けた取り組みについての調査を目的とする。

3. 岡山県玉野市

調査事項 「親学啓発パンフレットについて」

目 的 子どもの健全な成長のためには、親をはじめ周囲の大人が共に成長していく必要がありますが、近年、社会環境の変化から、家庭の教育力の低下が度々指摘されています。家庭は全ての教育の出発点であることから、親の役割の重要性、また全般的な家庭教育について「親学」として啓発をすすめている取り組みについての調査を目的とする。

(2) 視察概要

1. 松江市役所

① 視察日時 平成24年 8月28日(火) 午後1時～午後4時

② 調査事項
「屋外運動場芝生化事業について」

③ 視察先対応者

松江市議会事務局議事調査課長

松江市議会事務局議事調査課副主任

松江市教育委員会学校管理課 施設管理係長

④ 施策概要

設備、維持管理に係る経費は、全て学校の設置者として当然の責務である行政が責任を持つことにより、地域や学校の皆さんに、金銭的な負担をあまりかけることなく、また煩わしい事務手続きなどありませんので、安心して取り組むことができる。

そして、地域や学校の皆さんには、維持管理や活用策にかかる力(マンパワー)の提供をいただくことにより、結果として維持管理にかかる経費を低く抑えることができ、行政としても継続的に取り組むことができる。それが松江方式の大きな特徴である。概要説明の後、芝生化している小学校にて現地視察を行った。(写真添付)

⑤ 参考資料

「松江方式」による屋外運動芝生化事業について

(3) 考察と今後の課題

芝生化については、すべて地域で協議するため、地域のコミュニティ力が向上し、その活性化が見れたり、外で遊ぶ機会が増えるため、児童の体力向上が図れたりという良い面もありますが、維持管理においてすべて地域の方がされているため、この事業に関しては、地域が一体となって実施しなければ実現は難しいと思われる。



(2) 視察概要

1. 雲南市役所

① 視察日時 平成24年 8月29日(水) 午前9時～午前11時

② 調査事項

「公立保育所の保育業務委託契約について」

③ 視察先対応者

雲南市健康福祉部長

雲南市議会事務局次長

④ 施策概要

外部の力による保育サービスの充実を図るための方策として、完全民営化方式、指定管理者方式及び業務委託方式の比較を行った結果、保護者の皆様に安心して保育所をご利用いただくために、行政関与による業務委託方式が最良であると判断され、委託方式を採用された。また、多様な形態の保育所によるサービスの提供体制の確立は、保護者の保育所選択肢の拡大を図ることができるものでした。

⑤ 参考資料

公立保育所の保育業務委託契約について

(3) 考察と今後の課題

公立保育所の保育業務委託契約については、特に財政効果は少ないという事でしたが、正規職員の削減をし、更なる保育の充実安定を図るという目的で実施されました。雲南市においての臨時職員の待遇は、天理市の日々雇用職員と似ていますが、その方々が委託先の保育所に雇用されると正規職員として採用され、給与も上がりボーナスも出ることとなり、職員の地位改善となります。また、保育時間の延長、看護師の配置、特別保育サービスの向上も目指しておられます。事前に、天理市は担当部局より今のところ公立保育所を民営化する予定はないと聞いておりますが、将来民営化の波が来た時には、指定管理だけではなく業務委託も一つの選択肢と成りえると思います。

(2) 視察概要

1. 玉野市役所

① 視察日時 平成24年 8月29日(水) 午前9時～午前11時

② 調査事項
「親学啓発パンフレットについて」

③ 視察先対応者

玉野市教育委員会社会教育課長

玉野市教育委員会社会教育課長補佐

玉野市教育委員会社会教育課社会教育係主事

④ 施策概要

すべての教育の出発点である家庭の教育力向上、及び親の役割の重要性の再認識を図るとともに、親としてのあり方、子育ての楽しさなどについて学ぶ「親学」の啓発を進めるために、パンフレットを作成された。また、これを活用し「親学」啓発の推進を図られている。作成にあたっては、いろんな職種の方々が集まり、知恵を出し合い様々な工夫をされた。現在は、年間25,000部配布されている。

⑤ 参考資料

親学啓発パンフレット

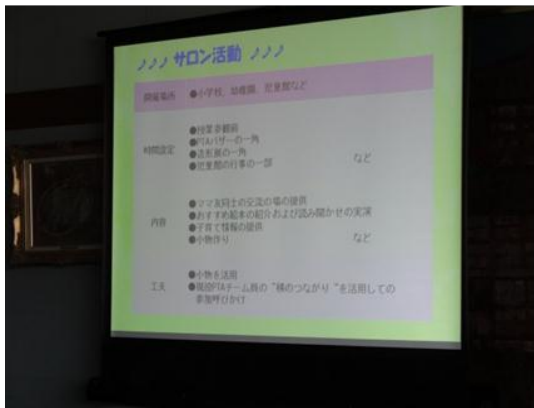
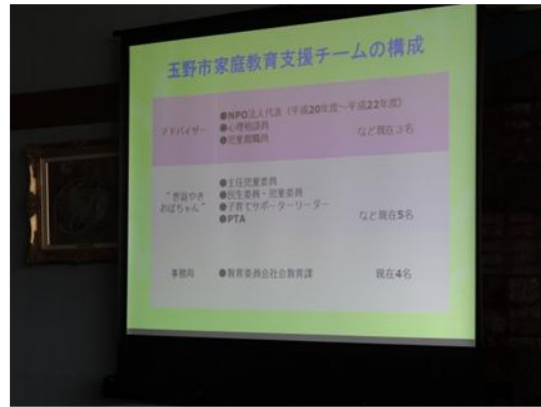
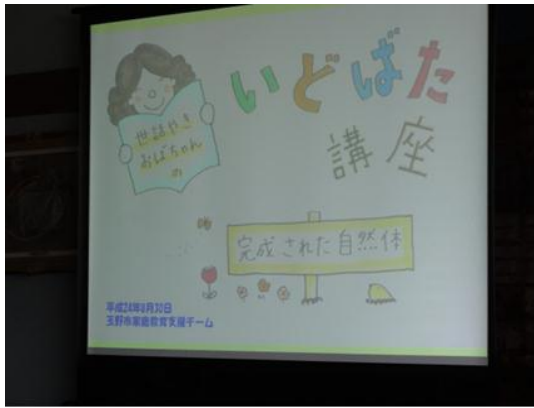
子育て・親育ち講座

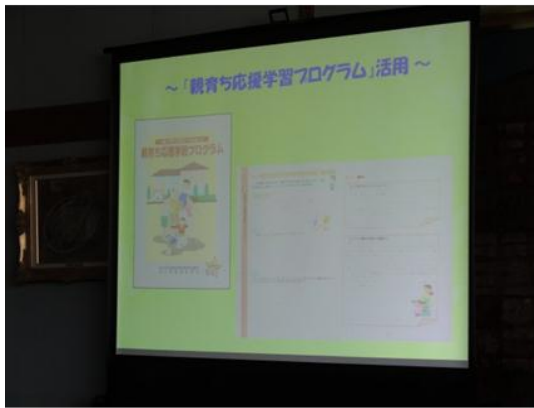
まちづくり出前講座

(3) 考察と今後の課題

親学啓発パンフレットについては、今の若い親たちが子育てに悩んでおり、またそれを相談する人もいない中、このパンフレットを幼、小、中、高の親に直接(子供に託すのではなく)渡すことにより、大変なのは自分だけではないという意識改革をすすめる、又先には支援企業なども視野に入れた啓発活動もされておられます。そして、支援チームが立ち上がり、出前講座等で活動しておられますが、最終的には支援チームが出かけていくのではなく、保護者の方から来てもらうサロンづくりを考えておられます。

このパンフレットは非常に工夫され、子供に読んでいただきたい絵本も紹介してあり、若い世代の親が今どうすればいいか、読みやすく端的にまとめたパンフレットになっております。天理市でも一度検討をしていただきたいと考えております。







O Y A G A K U

親学

として ぶ



親と子のしあわせを願って

玉野市教育委員会

親学は子どもにとって人生最初の価値であり、子どもの健全成長のためには親をはじめ周囲の大人が、子どもにとって心地よい存在となりながら、子どもと共に成長していく必要があります。しかしながら近年、社会環境の変化から、家庭の教育力の低下が指摘されています。親学は子どもだけではなく、家庭は全ての教育の出発点であることから、自律に親の個性を再確認していただくため、このパンフレットを作成しました。このページでは全般的な家庭教育について、次ページ以降では子どもの成長段階別にアドバイスを載せており、赤ちゃんから思春期になるまで、子育ての道を見守るのびととなっています。お手元に置いていただき、家庭や学校、地域において、子育て、家庭教育について考えるとき、悩んだときにお読みください。何かしらのヒントや気遣いとなれば幸いです。玉野市は海と山に囲まれ、自然に恵まれた住みやすいまちです。皆様には、ぜひこのまちで、地域と手を取り合いながらの子育てをしていただきたいと思います。

玉野市教育委員会 教育長 岡本和徳

玉野市の「親学」とは？

玉野市では子どもたちへの「徳育」の推進とあわせて、親や地域の大人が子どもへの関わり方や、大人自身の公共心・規範意識を見つめ直し、大人としてのあり方・子育ての楽しさについて学ぶ「親学」の啓発をすすめています。

成長段階については標準的な分け方をしていますが、子どもの成長の違いにより、あてはまる年齢などは若干異なる場合があります。

子どもを伸ばすために

- ◎子どもとのふれあい
忙しい中でも子どもの話を正しく受け止め、楽しみや感動を共有することは、親と子が信頼関係を築くうえで基礎となり、子どものコミュニケーション能力を高めることにもつながります。
- ◎子は親の鏡
言葉で伝えるだけでなく、親自身が手本となって行動することが大切です。子どもは、親の言動や行動に倣うだけでなく、親のしている通りに行動し育っていきます。

「親の成長」のために

- ◎親の道、子の道
子どもに一方に期待するのではなく、まず親自身が自分の人間的成長の時間を必ず確保しておきましょう。子どもにとって一番身近な大人である親の行動は、子どもに大きな影響を与えます。
- ◎生活のリズム
まず自分が、バランスのとれた食生活や適度な運動をとり運動するなど、しっかりとした生活リズムを身に付けることで、親子ともに健康的な生活を送ることができます。

温かい家庭のために

- ◎素直な気持ちを表す
親も子どもへの感情は「ありがとう」、喜ぶ気持ちは「ごめんね」の言葉で、素直に表しましょう。また「おはようは魔法の言葉」と言われるように、毎日のあいさつはコミュニケーションの基本です。
- ◎家庭のルールを作り守る
社会的ルールやマナーを守る家庭教育、自分自身を大切に、他者への思いやりや感謝の気持ちを養うためには、家庭内のルールを決め、親子でしっかりと守ることが大切です。特に、テレビやゲームの時間、携帯電話の使用などについては家族でよく話し合しましょう。

妊娠期～乳児期

【1歳頃まで】
赤ちゃんの誕生を祝福し、赤ちゃんを中心に家族全員が信頼関係を築いていく時期です。

おなかの赤ちゃんへ声をかけていますか

出産前から家族の一員としてふれあうことで、産後もすぐに家族の仲間入りができます。また、お母さん自身も声をかけることで気持ちも落ち着きます。

お母さんの環境づくりに配慮していますか

おなかの赤ちゃんの健康のため、お母さんがストレスにさらされ、情緒不安定な状況に陥らないよう、家族や周りの人はお母さんを支えましょう。また、出産後は誰でも気持ちに不安定になるものです。家族で家事を分担したり、お母さんに楽しい言葉もかけることも大切です。

赤ちゃんときんshipしていますか

食事させたり、だっこしたりする時間は、赤ちゃんが家族にとってかけがえのない大切な時間となります。赤ちゃんの目を見つめながら、話しかけましょう。

ストレスが発散できていますか

一日中、家の中で赤ちゃんを二人きりで過ごしたり、子育てが思いどおりにいかんかったりして、気が重くなるお母さんも多いと思います。理想にこだわらず、おらかな気持ちで受けとめましょう。また、一人で悩まず友だちや関係機関に相談しましょう。

ママカスタード 動画の紹介

びよん まつおたつてん、ねぶた

びよん

どうぶつのおやく 動物のふれあ

- 親子健康手帳の交付、妊娠健康診査、乳児健康診査などについて
すこやかセンター ☎31-3310
- 育児健康相談などについて
玉野市子育てファミリーサポートセンター 玉野市児童館内 ☎32-3778
- 育児健康相談などについて
玉野市子育てファミリーサポートセンター 玉野市児童館内 ☎32-3778

幼児期前期

【1～3歳頃】
しゃべったり歩いたり、様々な能力が成長していく時期です。

発達の違いについて悩んでいませんか

子どもの発達は一人一人異なります。周囲の子ができていくことが自分の子にできないと、どうしても気にしてしまいがちです。でも心配しすぎて子どもを責めたり、無理をさせることのないようにしましょう。必要ときは、気軽に関係機関に相談してください。

失敗を恐れすぎませんか

トイレのトレーニングや自分でのお食事など、最初からできる子どもはいません。みんな失敗の連続から学んでいます。死守せず、子どもがやる気にならずにこの年齢、親はおらかな気持ちで接しましょう。

のびのびと遊ばせていますか

よちよち歩きができるようになると、子どもの遊びの幅が広がります。子どもは遊びの中で、自分にできることのできないことの境界を探し、成長しています。安全に気を配りながら、屋外での遊びを見守りましょう。

絵本の読み聞かせをしていますか

お気に入りの絵本を、親がすすんで読んであげましょう。小さな子どもは繰り返し聞かせることが大好きです。同じ本を聞いていても、子どもの顔の中は、次々に新しい想像がふくらんでいるのです。また、おやすみ前に1冊絵本を読んでもかまいません。早寝の習慣づけにおすすめます。

あいさつを習慣づけていますか

身近な人や近所の人へのあいさつは、人間関係を築く基礎となります。親が率先して「おはよう」「こんにちは」「ごんばん」などの声をかけましょう。

なすみくんのチャップリン 動画の紹介

ひよりの 動画の紹介

ともだち探しは おおかみん 動画の紹介

- 保育園の入園など
玉野市住民子育て課 ☎32-5554
- 子育てに関する相談など
子育て支援センター 築港ちどり保育園内 ☎21-3347
玉野保育園内 ☎31-6192
すこやかセンター ☎31-3310



幼児期後期

【3～6歳頃】

頭の中が好奇心でいっぱいになり、創造力を伸ばす時期です。

子どものお手本 になっていますか

この時期の子どもは常に親を見て育っています。親の言葉や行動は子どもにとって善悪を判断するものさしになります。親は常に、手本となる行動をしましょう。親自身が間違ってしまったときは、素直に「ごめんね」と子どもに謝ることも大切です。

子どもの問いかけに 答えていますか

好奇心旺盛になり、「どうして〇〇は△△なの？」とたずねることが増えてきます。大人が、面倒がらずに答えることがお互いの信頼関係を築く基礎となります。また、すぐに答えるだけでなく、子ども自身を考えさせることも、成長に役立ちます。

子どもの心身を 傷つけていませんか

子育てのうえでしつけは当然必要なものです。しかし、親の感情のままに「叱る」行為は、児童虐待へつながる可能性があります。思いやり、やわらかくも厳しくすることがしつけではありません。「アイロンに熱いから危険」ということを教えるのにも、手を叩くのでなく引き寄せるなど、いろいろな方法があります。言葉で理由を説明することも必要です。

* なぐる・けするといった暴力はもたらぬこと。罰金刑、傷害を及ぼさないなどの懲罰も、真実、心を受け取る言葉の力でも変えられます。

● 幼児の一時的かりなど
玉野市子育てファミリーサポートセンター
玉野市児童館内 ☎32-3778

集団生活を意識させていますか

自分の思い通りにしないと暴れるなど、自己主張が強くなる時期です。しかしダメなことはダメだときちんと説明することで、他人との関わり方や社会のルールを学習していきます。また、言葉での気持ちのやりとりを覚えることは、コミュニケーション能力の向上につながります。

お手伝いを 習慣づけていますか

食器洗いやゴミ出しなど、簡単なことから始めましょう。生活力や判断力、責任感が身に付く土台となります。最初は大人と一緒にやって手本を示し、上手くできなくてもその努力をほめることが大切です。子どもが頑張ったときには、「よくがんばったね」としっかりとほめましょう。



● 幼児の遊び場など
玉野市児童館 ☎32-3778



児童期

【小学生頃】

勉強や友だち関係などへの期待や不安を持ち、社会のルールの中で生きていくことを理解していく時期です。

友だちと外で遊ばせていますか

外での集団遊びは人間関係をつくること、ルールを守ることを、教養することなど多くを学ぶ機会です。家の中のゲームやテレビの時間を減らし、友だちとの外遊びをすすめてみましょう。安全に気を配りつつ、おもしろい気持ちで見守りましょう。

子どもの自立を応援していますか

自己主張が強くなり、自分のことは自分で決めて行動したくなる時期です。自己主張も我慢も、親がきちんと受け止めて適切に導いてこそ、子どもの中に育ちます。子どもの意見には何らかの反応を示すことが大切です。それを尊重されたい場合には、「今は〇〇だから我慢しよう」「〇〇だからもう少し待ちなさい」と、子どもに理由を明確に伝えて、我慢を経験する機会をつくりましょう。



● 学校に関する悩み、トラブルなど
教育支援センター
青少年育成センター内 ☎33-5115

「早ね早お朝ごはん」に 取り組んでいますか

規則正しい生活は発育に必要不可欠なものです。朝ごはんを十分に取ることで、元気な一日がはじまります。夜はテレビを見る時間を約束し、静かに早く寝る環境を整えるとともに、朝、子どもが約束の時間に自分で起きることができればしっかり寝ています。

子どものサインに 気づいていますか

子どもに腹痛や頭痛、食欲不振などの症状や、過食、かんしゃくなどの行動が見られる場合、単なる病気ではなく、いじめや不登校などの心の問題が原因のケースがあります。「かかまを食うな」の一言ですませるのではなく、子どものサインをしっかり受け止めて、関係機関や医師に相談するなどに対応しましょう。



● 子どもの虐待や育児の悩みなど
玉野市市民子育て課
岡山県中央児童相談所 ☎32-5554



思春期

【小学校高学年～高校生徒頃】

急激に成長する身体に気持ちや考え方が追いつかず、不安定になりがちで、「自分とは何者か」という問いに悩む時期です。

自立への土台づくりを 助けていますか

自分の資質や能力などについて、悩みの多いときですが、自立に近づくためには、本人がそれらを乗り越えていく必要があります。過保護や過干渉にならないよう気を付け、子どもの行動を見守りましょう。もし失敗しても、何回でもやり直せるということを教え、子どもを支えましょう。

携帯電話の使い方について ルールを決めていますか

携帯電話やインターネットは便利ですが、使い方を誤ればネットいじめなど様々なトラブルに巻き込まれる可能性があります。トラブル回避のためには、有害な情報をカットするフィルタリングをするなど、使い方について親子で十分話し合い、ルールを決めて有効に使いましょう。



● 学校に関する悩み、トラブルなど
教育支援センター
青少年育成センター内 ☎33-5115

自分の生き方を伝えていますか

思春期は、愛情、信頼、人間関係など、今後の人生を左右するような課題に直面するときでもあります。それらを乗り越えるために、子どもは親などの身近な人の考え、生き方のモデルを必要としています。固執したときや迷ったとき、親の生き方を知っていれば、お父さん・お母さんならどうするだろうと子ども自身も心の中で問いかけられます。



お金の使い方について ルールを決めていますか

毎月の小遣い額を決め、その中でのやりくりを覚えさせることは、教養する心針刺しを育てるのに役立ちます。安眠にものを買い与えることが愛情ではありませぬ。また、値上げを要求してきた場合は理由をいせよ。子どもが納得のいくように十分話し合ひせよ。家のお金をこっそり持ち出すケースは、金銭トラブルに巻き込まれている可能性があります。家族だけで解決できない場合は、関係機関に相談しましょう。



● 不登校、いじめ、再行の相談など
岡山県中央児童相談所 ☎086-235-4152

このパンフレットは、親をはじめ、まわりの大人が、赤ちゃんから思春期までの子どもを見守るためのものです

子は親の鏡

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる
どげどげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる
不安な気持ちで育つと、子どもも不安になる
「かわいそうなんだ」と言っていると、子どもは、みじめな気持ちになる
子どもを馬鹿にする、引っ込みしあんな子になる
親が他人を悪んでばかりいると、子どもも人を悪むようになる
叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう
怒まてあげれば、子どもは、自信を持つようになる
広い心で接すれば、キレる子にはならない

整えてあげれば、子どもは、明るい子に育つ
愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ
認めてあげれば、子どもは、自分好きになる
見つめてあげれば、子どもは、感謝心になる
分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ
親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る
子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ
やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ
守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ
和気あいあいとした家庭で育てば、
子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる

ドローシー・ロー・ノルト/ライオナル・ハリス：著 石井千香：訳
『子どもが育つ魔法の言葉』PHP研究所 から転載

玉野市教育委員会 社会教育課（家庭教育支援チーム 事務局）
〒706-8510 玉野市野丁1丁目27-1 TEL 0863-32-5577
協力：玉野市PTA連合会

